

確かな学力向上推進プラン

平成 30 年 1 2 月 1 日現在
江戸川区立小岩第三中学校

学力向上に向けた目標値																		
成果指標：都学力調査における到達目標値																		
教科	平成 30 年度 結果		平成 31 年度 目標値		平成 31 年度 結果		平成 32 年度 目標値		平成 32 年度 結果		平成 33 年度 目標値		平成 33 年度 結果		平成 34 年度 目標値		平成 34 年度 結果	
	国語	21問	33.1%	問	%	問	%	問	%	問	%	問	%	問	%	問	%	問
社会	23問	22.1%	問	%	問	%	問	%	問	%	問	%	問	%	問	%	問	%
数学	23問	15.5%	問	%	問	%	問	%	問	%	問	%	問	%	問	%	問	%
理科	20問	10.5%	問	%	問	%	問	%	問	%	問	%	問	%	問	%	問	%
英語	20問	23.2%	問	%	問	%	問	%	問	%	問	%	問	%	問	%	問	%

学力向上に向けた取組				
論点	第1学年	第2学年	第3学年	成果指標及び数値目標
論点1 基礎的・基本的事項の定着	<ul style="list-style-type: none"> 小学校での学習を観察・分析 漢字、計算、英単語コンテストの実施（年3回） 放課後補習の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 漢字、計算、英単語コンテストの実施（年3回） 放課後補習の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 基礎学力を定着させるための、各授業での取り組みを年度初めにとりまとめ、共通理解する。随時ふりかえり、系統的に取り組む。 放課後や休暇中の講習等の実施 	
論点2 学習規律の徹底	<ul style="list-style-type: none"> 各教科担任からの授業の受け方の指導 チャイム前着席、授業準備の徹底 授業態度の振り返り 	<ul style="list-style-type: none"> 各教科担任からの授業の受け方の指導 チャイム着席、授業準備の徹底 	<ul style="list-style-type: none"> 一時間一時間の授業を大切にできる気構えを持たせるために、授業内容を授業者が精選精査する。 	
論点3 生活習慣の確立	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査2週間前より、学習計画表の作成 週間スケジュールの作成 	<ul style="list-style-type: none"> 生活記録ノートの活用 定期考査2週間前より、学習計画表の作成 	<ul style="list-style-type: none"> 遅刻や授業態度、係当番活動などの生活習慣の確立を目指す学年・学級指導を行い、一日を大切に誠実に過ごす心を育てる。 	
論点4 家庭学習の指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> 家庭学習ノートを毎日提出させる 各教科で家庭学習の仕方を説明 	<ul style="list-style-type: none"> 学年、学級通信を発行し、家庭学習の習慣化を促進 三者面談で家庭学習の啓発 	<ul style="list-style-type: none"> 年度初めに家庭学習の課題を学年で取りまとめ家庭に周知する。 定期考査前・長期休業中・年間学習計画の立て方を指導する。 	
論点5 言語に関する指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> おすすめ本の紹介（ブックトーク） 各教科の授業で、発表、話し合いの活動を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 各教科の授業で、発表、話し合いの活動を実施 学年で、弁論発表会、ブックトーク発表会の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 正しい漢字や文法で丁寧に書くことを国語科中心に学年で指導する。 豊かな語彙で話せるよう、国語科を中心に各取り組みで指導する。 	
論点6 教員の学習指導力向上	<ul style="list-style-type: none"> 生徒による授業評価の実施 教員同士で授業を見合い、助言や情報交換の実施（年3回） 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒による授業評価の実施 教員同士で授業を見合い、助言や情報交換の実施（年3回） 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒による授業評価の実施 教員同士で授業を見合い、助言や情報交換の実施（年3回） 	

教科	各教科の授業改善に向けた指導の重点		
	第1学年	第2学年	第3学年
国語	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な漢字・文法の力を見極め、基礎学力向上に向けた具体的な取り組みを実施する。 文字を丁寧に、バランスよく書く指導を徹底して行う。 授業規律を定着させ、主体的に積極的に学び、発言する姿勢を指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> 論理的に書くこと・豊かな感性で書くことを伸ばす指導を系統的に行う。 自分の意見を秩序立ててわかりやすく話すこと、相手の意見をよく聞き、自分の意見と照らし合わせて話し合うことを系統的に指導して伸ばす。 	<ul style="list-style-type: none"> 長文や説明的文章を要点を捉えて読むことを重点的に指導する。 図表を用いた文章や、資料を活用した文章を読むことを重点的に指導する。 自分の意見を的確にまとめて書く機会を増やして指導する。
社会	<ul style="list-style-type: none"> 基礎知識の定着を図るために小テストを実施する。 自ら調べる力をつけるために学習のポイントを毎回の授業で提示する。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に基づいたカリキュラムを作成し、主体的活動、言語活動を積極的に取り入れる。 社会嫌いににならないような教科指導を心がけ、地理的分野と歴史的分野の基礎的な知識を身につけさせる。 小テストなどを通じて、基礎的な知識を定着させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 文章を読んで理解する力やデータや地図を読む力をつけさせるとともに地理的分野、歴史的分野、公民的分野の基礎的・総合的な知識を身につけさせる。 授業態度や小テストなどを重視し、創造性豊かな作品やノート作りを奨励し、発言力や展示発表を積極的に評価する。
数学	<ul style="list-style-type: none"> 自主的な学習をするために、自主学習ノートを作成し、定期的に提出させている。 授業の中でその日の内容ごとに通常の基礎的な問題に加えて応用問題も添付して、思考力、表現力を向上させるべく努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えたことなどを班内で発表し共有することで、考えを深めることを行っている。 思考力、表現力を必要とする課題に取り組む際、自分の考えを道筋を立てて説明できるように努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> その週に習った内容を週末課題で確認し、小テストを実施し、定着を図る。 問題に対する取り組みが違うことを考慮し、先に解き終えた生徒が解けていない生徒に教えてまわり、なぜそうなったのかを説明できる力を養う。
理科	<ul style="list-style-type: none"> 基礎・基本の知識を確実に身に付けさせるために小テストを実施している。 日常生活で起こる事物・現象を科学的に考えるように指導を心がけている。 	<ul style="list-style-type: none"> 言語活動の充実を目指し、発表やレポートを進んで取り入れるようにしている。 2年後に都立高等学校入学選抜学力検査問題を対応できる力を養えるように授業を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> 実験・観察を多く取り入れ、探究的に授業を進めることにより興味や関心を高めるようにしている。 応用問題や入試問題に対応できるように発展的な指導を取り入れる。 興味・関心を高めるために、ICT機器を活用している。
音楽	<ul style="list-style-type: none"> 音楽、表現をすることの楽しさを味わわせるため、リトミックを交えた音楽集会を行う。 評価を明確化し、意欲や技能向上につなげている。 一時間の中で毎回達成感を持たせ、成就感を味わわせている。 	<ul style="list-style-type: none"> 評価を明確化し、意欲や技能向上につなげている。 一時間の中で毎回達成感を持たせ、成就感を味わわせている。 オーケストラの音を生で見て、聴くことで豊かな感性を身に着ける。 	<ul style="list-style-type: none"> 意欲、興味、関心を高めるため、ICT機器を活用している。 評価を明確化し、意欲や技能向上につなげている。 一時間の中で毎回達成感を持たせ、成就感を味わわせている。
美術	<ul style="list-style-type: none"> 基礎的な技術となる材料や用具の使い方など個別の技能を身に付けさせる。 生徒自らが発想や構想したことを基に具体化できるよう、美術室内の資料を充実させ活用できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 見る人や使う人の気持ちを心豊かにすることを考え、話し合いの時間をとり、お互いの意見を作品制作に生かすことで、思考力、判断力、表現力を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> 言葉で作品について表現する機会を多く取り入れ、既成の概念や常識などにとらわれることなく、自分の感じ方や考えなどを広げていくことができるよう指導を工夫する。
保健体育	<ul style="list-style-type: none"> 補助運動の内容を充実させ、主運動との関連を高めながら基礎的な運動能力や体力向上を図る。 仲間への声掛けや応援が自然とできるような雰囲気づくりをし、運動が苦手な生徒も積極的に取り組めるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 友達の良さを見つけたり、お互いにアドバイスし合ったりするなど、協力しながら個々の能力を高められる言語活動の場面を設定する。 ゲームや試合の中から課題を見つけ、仲間とともに解決する活動を積極的に取り入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> 球技ではゲームや試合を多く取り入れ、より合理的なチームプレーができるようにする。 個人種目では、よりよい記録を出すために、複数の練習方法の中から自分自身にあったものを選んで活動できる場面を設定する。
技術家庭	<ul style="list-style-type: none"> 学習内容が社会でどのように活かされているか考えさせたり、話し合わせたりする。学習内容と社会との結びつきを気づかせ学習内容や技能を身につけることへの意欲を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> 社会や衣食住、家族の生活について関心を持ち、活用につなげる知識や発想、基礎的な技能を身につける。そして、進んで活用しようという意識を高める。また、その学習内容が社会にどのような貢献をしているかを発見させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 身につけた知識や発想、基礎的な技能を社会や衣食住、家族の生活に活かし、積極的に活用したり、論理的な考察・理解の手段として利用したりする。また、その学習内容が社会にどのような貢献をしているかを示すことができるようにさせる。
外国語(英語)	<ul style="list-style-type: none"> 小学校で育まれたコミュニケーション能力の素地を生かして伸ばしていく。 学習指導要領に基づいたカリキュラムを作成し、主体的活動、言語活動を積極的に取り入れる。 一時間の中で毎回達成感を持たせ、成就感を味わわせている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に基づいたカリキュラムを作成し、主体的活動、言語活動を積極的に取り入れる。 小テストやノート点検など定期的に行い家庭学習を定着させると共にプレゼンテーションなどの発表活動を取り入れ、コミュニケーション能力の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に基づいたカリキュラムを作成し、主体的活動、言語活動を積極的に取り入れる。 長文読解やリスニング練習などを多く取り入れると共に、テーマに沿った英作文を書く活動を定期的に設け、習得した知識を実践することができる力を育成する。